

# 令和5年度公益社団法人宮津与謝広域シルバー人材センター事業報告

## I 総括的事項

我が国の経済状況は、コロナ禍の3年間を乗り越え改善しつつあり、30年ぶりとされる高水準の賃上げや、株価にみられるように企業の高い投資意欲など、経済には前向きな動きが見られ、日本の経済は新たなステージに移行するチャンスであると言われていています。一方で、食品を始めとする物価の上昇が国民生活に重くのしかかっており、今後の総合経済対策の進捗により、所得環境の改善が図られ、国民の負担感が少しでも軽減されることが期待されています。

当シルバー人材センター（以下「センター」という。）においても、コロナ禍の3年が経過し、令和5年度においては観光、宿泊、飲食などの一般企業分野や管理、運転、清掃などの分野とあわせ、公共、民間ともに一定の回復傾向にあります。しかしながら、コロナ前の令和元年度実績まで回復するには至っておらず、会員の減少と相まって引き続き厳しい事業運営が予想されるところです。

このような中、「自主・自立、共働・共助」の基本理念のもと、一丸となって事業推進に取り組んだ結果、決算においては請負・委任事業、派遣事業とも事業収益は当初の予算見込みを上回ることができました。また、センターの独自事業である弁当グラン・マの健康弁当配食事業が7年を経過し、女性会員の就業の場、生きがいの場として定着するとともに、管内の老人家庭や多くの働く職場の方々に手作り弁当をお届けすることができました。

センターの基盤である会員数の拡大については、定年延長や継続雇用制度の導入などで新規入会者が減少傾向にあります。令和5年度末

の会員数は344人で、前年度末の353名に比べて9人の減少となりました。しかしながら女性会員については前年度末の106人から110人に4人の増加となり、会員の地道な友人、知人への入会運動が結果として昨年を上回る女性会員数に繋がったと考えられます。今後も効果的な方法により一人でも多くの会員拡大につながるよう取り組み必要があります。

一方、会員の就業状況につきましては、就業実人数は327人（前年度318人）、就業率は95.1%（前年度90.1%）で、いずれも前年度を上回る結果となり、2年連続で改善することができました。

事業実績は、請負・委任事業の受注金額が1億5,737万円であり、前年度より312万円の伸びとなりました。また、受託件数は4,305件で、前年度を169件下回る結果となりました。派遣事業は、順調に推移し、本年度実績は前年度から292万円増加し、1,859万円となりました。請負・委任事業と派遣事業を合わせた受注金額は、本年度1億7,596万円、昨年度比604万円の伸びとなり、新型コロナウイルスの影響等で大きく落ち込んでいた令和2年度契約実績から3年連続で回復することができました。

しかしながら、請負・委任事業は回復傾向にはあるものの、配分金単価を2年連続で上げたことが前年を上回る結果につながったもので、実質的な増加には至っていないのが現状です。今後も厳しい状況が続くと思われるので、引き続き関係市町に公共事業の発注をお願いするとともに、民間事業所、個人の新規注文を獲得するなど、受注の拡大に向けてより一層取組みを強化する必要があります。

以下に、主な事業概要について報告いたします。

## Ⅱ 事業概要

### 1 組織体制の充実・強化に関すること

- (1) 理事会及び各種委員会、地域班役員会、職群班会議等を開催し、それぞれ積極的な業務運営に努めました。
- (2) 会員相互の連帯意識や就業機会の拡大を図るため、地域班班長会議を3回開催するとともに、会員地区懇談会を管内4か所で開催し、会員の意見を幅広く聴くことができました。
- (3) 地域社会とともに歩むセンターを目指し、管内3地域でのイベントに合わせた普及啓発活動等を実施しました。また、公共施設でのボランティア活動についても、管内3か所で草刈り、清掃、植木の剪定作業などを行いました。

### 2 会員の増強促進

- (1) 令和5年度末の会員内訳は男性234人、女性110人、平均年齢は男性74.3歳、女性74.7歳、全体では74.5歳となっており、徐々に平均年齢が上昇しています。
- (2) 会員の増強は、センター活動の大きな柱であるため、一般住民向けに薬膳料理講習会、草刈機取扱安全講習会を開催したところ7名の参加があり、1名の新規入会につながりました。また、4月及び10月の年2回、管内全戸に会員募集チラシの折込みや行政広報紙への掲載を行うとともに、会員から友人、知人への入会を勧めてもらうよう広報を行い、一定の効果を生むことができました。
- (3) 入会希望者に対する説明会を毎月20日及び臨時に開催しました。その結果、入会説明会の参加者は年間合計で55人、月

平均は4.6人で、内新規入会者が44人ありました。しかしながら退会者が53人あったため令和5年度末の会員数は344人となり、前年度末より9人減少しました。特に、3月に病気、加齢等を理由に退会される方が多くなっており、大きな課題となっています。

### 3 就業開拓と拡大、デジタル化の推進

(1) センター活動の更なる発展と会員が希望する就業を提供するため、関係市町長に運営費補助金の継続、公共事業の発注拡大などの要望活動を行いました。

また、京都府シルバー人材センター連合会、京丹後市シルバー人材センターと共に、京都府丹後広域振興局長に対し、運営費補助金の継続及び公共事業の発注拡大などの要望書を提出しました。

(2) 会員主導型の就業を念頭に、職群班の確保と体制強化を図るため職群班会議を開催し、発注者の要望に応えられる班体制並びに班同士の協力体制と、会員の仲間意識の高揚や安全指導、さらには後継者育成に努めました。

(3) 地域で課題となっている空き家見守りサービスを宮津市地域で令和5年度からスタートし、2人の方から受注することができました。また、令和5年度から草刈り、剪定等の残材処分について、クリーンセンター処分料を後納払いとしたことにより、会員の一時負担を解消することができました。

(4) 会員が就業を希望する仕事について、入会後の経過や諸事情により変動している場合もあるため、希望に沿った就業につな

がるよう再調査を行いました。また、緊急連絡先の再登録や連絡手段としてデジタル対応が可能となるよう smile to smile（スマイルトゥスマイル）への登録を推進しました。

#### 4 介護予防・日常生活支援総合事業の推進

介護予防・日常生活支援総合事業を受託し、スムーズな事業運営と利用者へのきめ細やかなサービスができるよう定例会・研修会を開催しました。事業の実績では、利用者の減少傾向から宮津市及び与謝野町で21名（年度末現在）の利用者数に留まりましたが、延べ利用回数は997回、契約金額は199万4千円で、前年度を上回ることができました。

##### 令和5年度介護予防・日常生活支援総合事業の実績

項目	年度	宮津市	伊根町	与謝野町	合計
利用者数 年度末（人）	令和4年度	12	—	11	23
	令和5年度	7	—	14	21
増減		△5	—	3	△2
延利用回数 （回）	令和4年度	451	—	495	946
	令和5年度	331	—	666	997
増減		△120	—	171	51
契約金額 （千円）	令和4年度	902	—	990	1,892
	令和5年度	662	—	1,332	1,994
増減		△240	—	342	102

## 5 独自事業の推進

### (1) シルバー健康弁当の推進

平成29年度から開始した弁当グラン・マのグループによるシルバー健康弁当は、令和5年度に7年目を迎え、平成31年1月にセンター内に整備した新しい調理室を拠点に積極的に活動してきました。令和5年度においては目標としていた5,000食には少し届きませんでした。現在では、毎週金曜日に100食をお届けできるようになり、地元の食材を使用し健康志向を高める活動として定着してきました。

- ・販売日 定例の販売日は毎週金曜日
- ・就業実人数 9人（令和6年3月31日現在）
- ・月活動回数 3回～6回 計57回／年  
金曜日のほか注文に応じて配食日を追加
- ・販売数 4,937食  
(1回あたり平均販売数87食)
- ・販売金額 2,645,250円

## 6 普及啓発活動の推進

(1) 広報紙「宮津与謝広域シルバーだより」を年2回発行し、管内の各家庭、事業所等にセンターの運営状況や管内施設の紹介など地域情報を広報するとともに、積極的に会員募集、仕事募集を行いました。また、随時、情報をリアルタイムでお届けできるよう昨年度リニューアルした当センターのホームページを活用し、情報発信に努めました。

(2) 全国一斉「シルバーの日」として設定された10月の「普及啓

発促進月間」の取り組みは、イベント開催に合わせ島崎公園芝生広場及び伊根町役場、よさの野菜の駅において啓発用チラシに粗品を添えて来場者に啓発しました。また、みやづ産業フェスタに出展し、シルバー事業のPRを行いました。ボランティア事業は宮津市役所中庭、伊根浦公園、加悦庁舎周辺において草刈り、清掃、植木の剪定作業など社会奉仕活動を実施しました。

## 7 安全・適正就業対策の推進

- (1) 安全はセンター事業の基盤であり、全てに優先することを全会員に周知徹底するため、安全・適正就業委員会や安全パトロール、事故検証委員会を開催し、就業環境の確認と安全・適正就業の徹底を図りました。
- (2) 草刈り、植木剪定作業では安全用具の着用や安全就業基準の遵守、防護ネット活用等の指導を行いました。令和5年度は、防護ネットを配備したことで機械除草中の飛び石事故が昨年の5件から2件に減りましたが、残念ながら次のように全体の事故件数は増加しました。

令和5年度事故発生件数

傷害事故 2件 内入院 1件、通院 1件

(昨年度 0件)

物損事故 6件 (昨年度 7件)

計 8件 (昨年度 7件)

## 8 会員の就業に関する講習会・研修会の実施

高齢者活躍人材確保育成事業として、京都府連合会と連携し

て薬膳料理講習会（受講者 一般4名、会員4名）及び草刈機取扱安全講習会（受講者 一般3名、会員3名）を開催し、地域の高齢者等の雇用・就業機会の確保及び会員獲得に取り組みました。草刈機取扱安全講習会では1名が入会し機械除草に就業しました。

また、京都府連合会主催の人権研修会（北部会場 福知山市）に、15名が参加し、同和問題についての研修を深めました。

## 9 一般労働者派遣事業（シルバー派遣事業）の推進

当センターに、京都府連合会が行う一般労働者派遣事業（シルバー派遣事業）の宮津与謝事務所を置き、派遣業務を実施しました。主な職種は自動車運転、保育補助、JA作業、史跡調査などとなっており、令和5年度の実績は、下表のとおりであり、前年度実績を大きく上回ることができました。

### 令和5年度派遣労働者事業の実績

項目	契約件数 (件)	契約金額 (千円)	就業実人員 (人)	就業率 (%)	就業延人員 (人)
令和4年度	10	15,667	43	89.6	2,043
令和5年度	12	18,590	45	83.3	2,531
増減数	2	2,923	2	—	488
増減率 (%)	20.0	18.7	4.7	—	23.9

## 10 有料職業紹介事業の推進

京都府連合会が行う臨時的かつ短期的な雇用による就業、または



その他軽易な業務に係る職業紹介事業については、事業の実績はありませんでした。

## 11 個人情報の保護

「個人情報の保護に関する規程」に基づき、個人情報を取得するときは利用目的を明示し、第三者への個人情報は会員の同意を得るなど、個人情報の運用・管理を徹底しました。

また、パソコンへの不正アクセスを防止するため昨年度導入したセキュリティ機器により安全管理を徹底しました。

## 12 健全な財政運営と運営基盤の強化、新制度への対応

財政運営が厳しいため、引き続き職員数の抑制（1名減）と運営経費の節減、効率的な業務運営に努めるとともに、毎月決算時において財政の収支状況を見通し、理事会へ報告するなど、財政管理を行いました。受託事業収入については、その早期回収と積極的な受注に心掛けました。

令和5年10月から施行されたインボイス制度については、令和5年4月に特定費用準備資金としてインボイス制度対応積立資産を設置し、今後の消費税の支払いに充てるため決算時において所要額を積立てました。今後、運営費からの積立てを継続するとともに、事務费率引上げにより財源確保を行う計画としました。

また、令和6年秋ごろに予定されるフリーランス法に対応する新しい契約方法について研究し、今後の進め方について概ねの方針を定めました。

### 13 事務局機能の充実・強化

令和2年度から職員体制を8名から7名に減員しましたが、各職員とも経験を最大限に生かしながら相互に協力することで、事務局運営を維持することができました。また、毎朝の朝礼や職員会議、報告・相談などを密にし、情報の共有と課題への対応について協議しました。職員資質の向上と事務処理の効率化については、関係機関主催の職員研修会に積極的に参加させ、職員意識の向上に努めました。